

系統用蓄電池事業の第1号案件を2024年に運転開始

～ 総容量約8MWh規模の蓄電所を開発～

2023年10月11日

日本エネルギー総合システム株式会社

日本エネルギー総合システム株式会社（本社：香川県高松市、代表取締役：黒淵誠二、以下「JPN」）は、鹿児島県の「霧島蓄電池ステーション」にて系統用蓄電池事業として第1号案件の開発を実施いたします。



本事業は、鹿児島県霧島市にて系統用蓄電池を取りまとめた総容量約8MWh規模の蓄電所を、2024年3月の運転開始へ向けて開発、運用する取り組みです。蓄電設備にはJPNの自社蓄電池ブランドJPN ENERGY BATTERY（略称「JEB」）^{※1}の水冷式蓄電池システムの採用を予定しています。一連の事業においてJPNは蓄電所の開発およびメンテナンスを行い、グループ会社のRE100電力株式会社（以下、「RE100電力」）が、AIを活用したEMSにより蓄電池の充放電制御をはじめとしたアグリゲーション業務を担います。加えて、当該蓄電所の電力は卸電力市場をはじめ需給調整市場、容量市場といった異なる市場取引を組み合わせることで、事業の収益最大化を図ります。

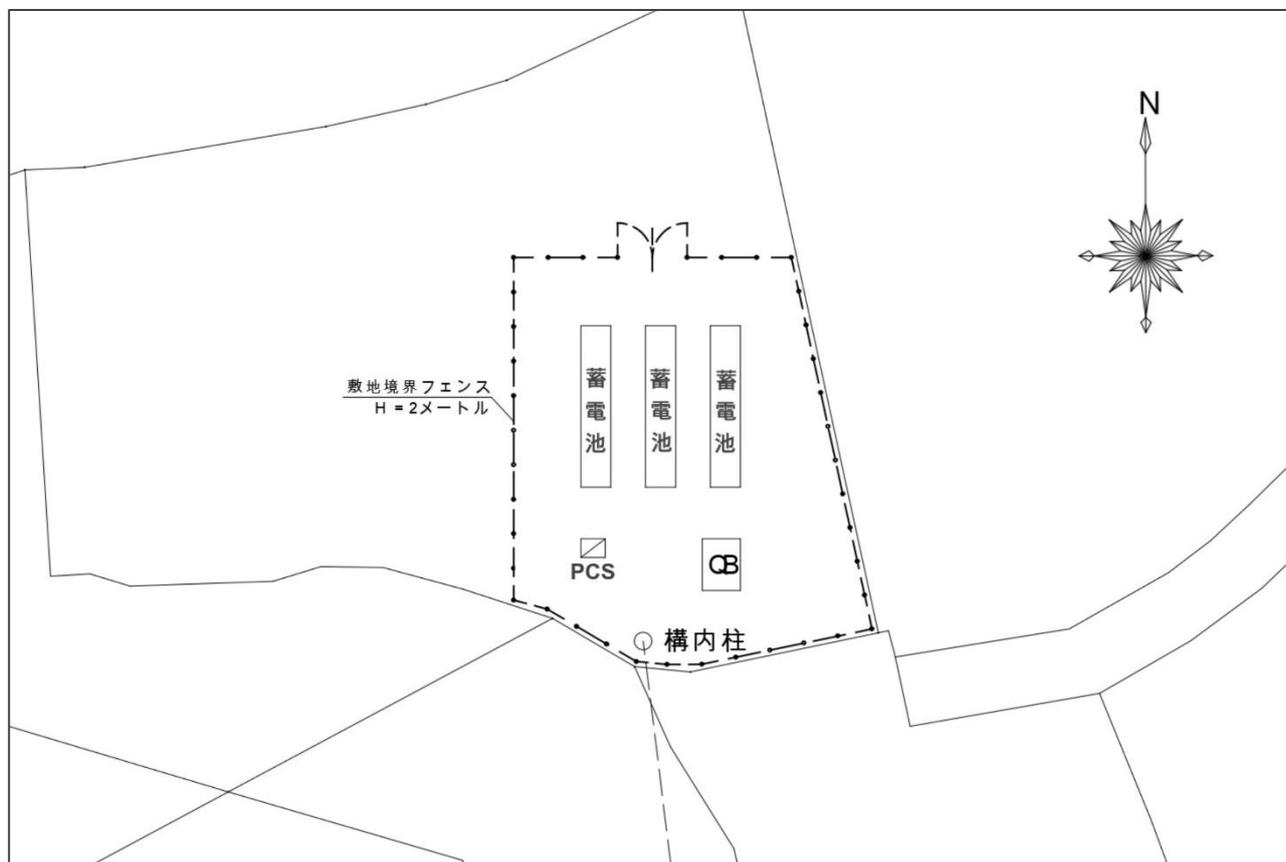
昨今、再生可能エネルギーの需要が高まるなかで、電力系統の安定化が期待できる系統用蓄電池の重要性は増すばかりです。本事業において、JPNとRE100電力は蓄電所開発による調整力の創出に加え、「令和4年度再生可能エネルギーアグリゲーション実証事業」^{※2}で培ったノウハウをもとに、蓄電所運用を通して実用的ビジネスモデルの展開やアグリゲーション技術の向上、事業の拡大に取り組みます。

※1. JPN ENERGY BATTERY サイト (<https://jeb.jpn-energy.jp/>)

※2. 「令和4年度再生可能エネルギーアグリゲーション実証事業」における成果報告のお知らせ (<https://www.jpn-energy.jp/news/entry-430.html>)

<参考資料>

1. 蓄電所概要



予定配置図

事業名称	霧島蓄電池ステーション
所在地	鹿児島県霧島市
定格出力	1.99MW
定格容量	8.256MWh
電池方式	リン酸鉄リチウムイオン電池
運転開始日	2024年3月（予定）
取引市場	卸電力市場、需給調整市場、容量市場

2. 会社概要

■ JPN

会社名	日本エネルギー総合システム株式会社
本社所在地	香川県高松市林町1964-1
代表者	代表取締役 黒淵 誠二
設立日	2013年5月7日
資本金	1億円
事業概要	再生可能エネルギー事業、住宅事業、新電力事業 など
コーポレートサイト	https://www.jpn-energy.jp/

■ RE100 電力

会社名	RE100電力株式会社
本社所在地	香川県高松市林町2521-5
代表者	CEO 黒淵 誠二
設立日	2016年3月7日
資本金	3億7500万円
事業概要	再生可能エネルギー事業
コーポレートサイト	https://www.re100-denryoku.jp/

3. 報道関係の方のお問い合わせ先

日本エネルギー 総合システム株式会社	経営戦略部：電話 087(813)5908
-----------------------	--

以上